

大阪外環状線（新大阪～都島）鉄道建設事業に係る
環境影響評価

事後調査報告書

平成29年4月

大阪外環状鉄道株式会社

1. 事業者の名称、代表者の氏名及び主たる事業所の所在地

事業者の名称：大阪外環状鉄道株式会社

代表者の氏名：代表取締役社長 北園 茂喜

主たる事業所の所在地：大阪府中央区今橋二丁目3番21号(藤浪ビル7階)

2. 対象事業の名称

大阪外環状線(新大阪～都島)鉄道建設事業

3. 対象事業の実施状況

事業計画路線の位置は下図に示すとおりです。

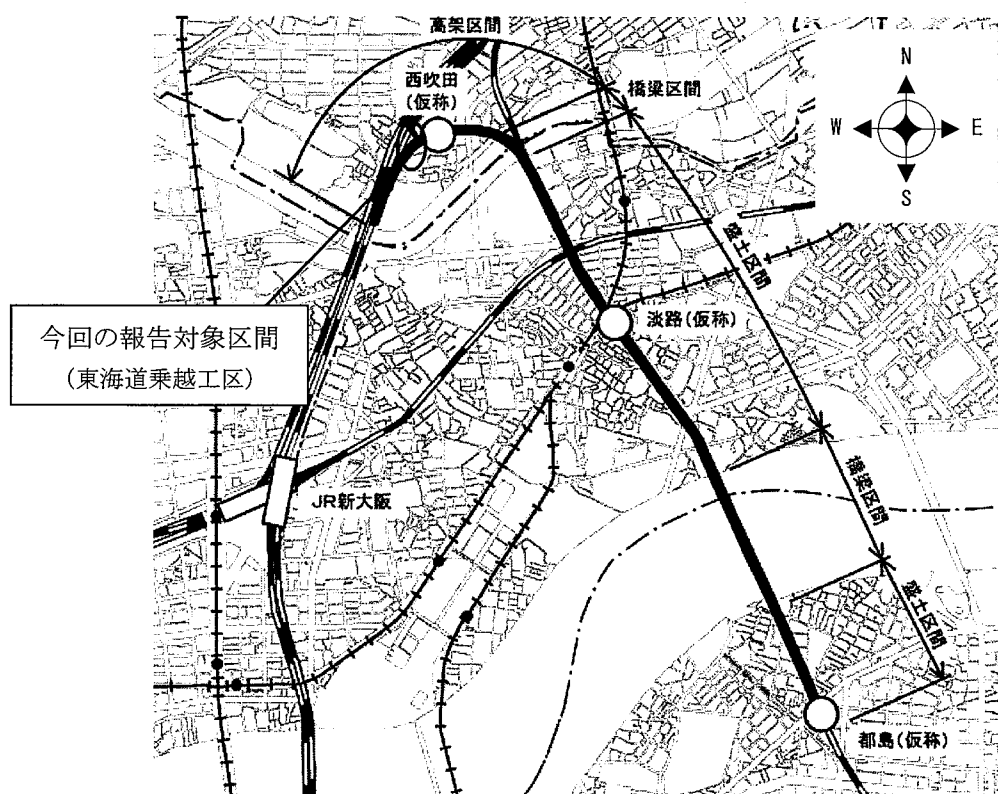


図 事業計画路線位置図

なお、東海道乗越工区の状況は、平成26年度9月から高架の基礎杭工を行い、平成27年12月に完了、併せて高架橋躯体工事を平成27年6月から行っており、現在、継続工事中です。

今回の調査までの工事工程表は、下記に示すとおりです。

工事の状況（平成 26 年 10 月～平成 29 年 3 月）

工事内容	平成26年度			平成27年度												平成28年度												平成29年				
	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
東海道乗越工区																																
準備工																																
高架橋基礎杭																																
高架橋躯体																																
盛土工																																
橋りょう改築																																

※上記の表で実線が地下水モニタリング対象工種(基礎杭)の実施時期、破線は対象外の工種

4. 事後調査の方法

①事後調査の項目

事後調査の項目は事後調査計画書により、表-4.1 に示すとおりです。

表-4.1 事後調査の項目

区分	環境項目	事後調査の項目
建設工事中	地下水	基礎工事に伴う地下水質

②調査地点、調査期間及び頻度、並びに調査方法

調査地点、調査期間及び頻度、並びに調査方法は事後調査計画書により、表-4.2 に示すとおりです。

表-4.2 建設工事中における調査地点、調査期間及び頻度、並びに調査方法

環境項目	事後調査の項目	内 容	
地下水	基礎工事に伴う地下水質 (有機塩素系化合物6物質)	調査事項	・第2帯水層の地下水質
		調査地点	・b地点(跨線線路橋区間)
		調査期間及び頻度	・事前=1回 ・基礎杭打設工事中及び完了後2年間=4回/年
		報告時期	・原則として、調査の2ヵ月後
		調査方法	・「土壌・地下水汚染に係る調査・対策指針(平成11年1月、環境庁)」に準拠して測定
		環境保全目標	・工事の実施により地下水汚染が拡散することがないこと

5. 事後調査の結果及び検証

(1) 基礎工事に伴う地下水質

基礎杭打設工事に伴い地下水質を調査しました。調査結果は別紙-6-2(5頁)のとおりです。

工事中(基礎杭打設工事)の地下水質は、事前調査結^査の値より全ての項目で下回っていることから、基礎杭打設工事は、所定の対策効果が確保され、周辺地下水に影響を及ぼしていないものと考えられます。

全ての項目で環境基準値を満足する調査結果となっています。

地下水質様式

基礎工事に伴う地下水質調査結果

調査日（事前）：平成23年 8月17日

調査日（事後）：平成29年 2月24日

調査地点：b

調査項目	調査結果 (mg/L)	事前の調査結果 (mg/L)	備 考
1,1-ジクロロエチレン	<0.002	<0.002	
1,2-ジクロロエチレン	<0.004	0.008	
1,1,1-トリクロロエタン	<0.0005	<0.0005	
トリクロロエチレン	<0.002	<0.002	
テトラクロロエチレン	<0.0005	<0.0005	
塩化ビニルモノマー	0.0004	0.0044	

調査地点位置図

